

- 30.そしてかれら（信者）の傍を過ぎると、栗いに（嘲笑して）目くばせし、
- 31.家族の許へ帰る時、笑い草にしたものである。
- 32.かれらのかれら（信者）を見かけると、「本当にこれらの者は迷っています。」と言う。
- 33.だがかれらは、かれら（信者）の監視者として遣わされた者ではない。
- 34.だがこの日は、信仰する者が不信者たちを笑い、
- 35.かれらは寢床に寄って、見渡すであろう。
- 36.不信者たちは、その行いの報いを受けたであろうかと。

SURA 84.割れる章〔アル・インシカーク〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.天が裂け割れて、
- 2.その主（の命）を聞き、従う時、
- 3.大地が延べ広げられ、
- 4.その中のものを吐き出して空になり、
- 5.その主（の御命令）を聞き、従う時。
- 6.おお人間よ、本当にあなたは、主の御許へと労苦して努力する者。かれに会うことになるのである。
- 7.その時右手にその書冊を渡される者に就いては、
- 8.かれの計算は直ぐ容易に精算され、
- 9.かれらは喜んで、自分の人々の許に帰るであろう。
- 10.だが背後に書冊を渡される者に就いては、
- 11.直に死を求めて叫ぶのだが、
- 12.燃える炎で焼かれよう。
- 13.本当にかれは、自分の人々の中で歡樂していた。
- 14.かれは、本当に（主の許に）帰ることなどないであろうと思っていた。
- 15.いや、主はいつもかれを見通しておられる。
- 16.わたしは、落日の夕映えによって誓う。
- 17.夜と、それに帰り集うものにおいて、
- 18.また満ちたる月にかけて（誓う）。

- 19.あなたがたは、必ず一層から他層に登るであろう。
- 20.それでも、かれらが信じないのはどうした訳か。
- 21.クルアーンが、かれらに読唱されると、かれらはサジダしようとはしない。〔サジダ〕
- 22.いや、信じない者は、（それを）嘘であると言う。
- 23.だがアッラーは、かれらの胸に隠すことを熟知なされる。
- 24.それであなたは、痛烈な懲罰をかれらに伝えなさい。
- 25.だが信仰して善行に勤しむ者は別である。かれらには絶えることのない報奨があろう。

SURA 85.星座章〔アル・ブルージュ〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.諸星座のある天において、
- 2.約束された（審判の）日において、
- 3.立証する者と、立証されるものにおいて（誓う）。
- 4.坑の住人は滅ぼされ、
- 5.火には薪が接ぎ足される。
- 6.見よ。かれらはその傍に座り、
- 7.信者に対してかれらが行ったこと（の凡て）に就いて、立証される。
- 8.かれらがかれら（信者）を迫害したのは、偉力ある御方、讚美されるべき御方アッラーを、かれら（信者）が信仰したために外ならない。
- 9.かれに、天と地の大権は属する。アッラーは凡てのことの立証者であられる。
- 10.本当に信仰する男と女を迫害して、それから悔悟しなかった者には地獄の懲罰があり、またかれらには炎火の懲罰があろう。
- 11.信仰して善行に勤しんだ者には、川が下を流れる楽園があろう。これは偉大な幸福の成就である。
- 12.本当にあなたの主の捕え方（懲罰）は強烈である。
- 13.かれこそは創造をなされ、またそれを繰り返される御方である。
- 14.かれは、寛容にして博愛ならびない御方。
- 15.栄光に満ちた、至高の玉座の主。
- 16.かれは御望・のこを、遂行なされる。